

令和7年度 事業計画書

一般社団法人 愛知子ども応援プロジェクト

◆はじめに

令和4年の法人立ち上げから3年が経過しました。その間に愛知県内のこども食堂も500軒以上になり、多くのこども食堂や学習支援団体との連携が進んで参りました。昨年、令和6年度は、「令和の米騒動」と言われるほど、お米価格は高騰し、困難を抱えた方々の死活問題となりましたが、助成金や支援企業のご協力により、お米支援を絶やすことなく行うことが出来ました。今年度は更に、必要な方々へ支援品をより多くより迅速にお届けできる体制を強化して参ります。

また、「体験や経験の格差」がもたらす影響を危惧し、様々なプログラムに取り組んで参ります。そして、地域活動（こども食堂・学習支援団体・ひとり親支援団体・多文化共生団体）などの活動を支える仕組みを更に強化して参ります。

当法人が行う支援活動は、こども食堂等がお子さんたちと繋がるためのツールと位置付けております。「お子さんたちとの顔の見える関係性・気軽にSOSが出せる関係性構築」を目的とし、「子どもの貧困・教育格差是正」のために、ひとつずつ丁寧に活動を積み重ねて参りますので、宜しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



1. 食支援事業

【1-1 食料品配送事業】

- ・定期便：隔週水曜日に、寄付食材などを愛知県内のハブステーションへ冷蔵便にて配送。ハブステーションにて、近隣のこども食堂等へ、支援品配布。
- ・不定期便：単発的な支援品などを、ハブステーションまたはこども食堂等へ配送。

	配送予定回数	延べ配布予定こども食堂数
定期便	24回	6,000軒
不定期便	12回	3,000軒
合計	36回	9,000軒

【1-2 特別協賛事業】

- ・クリスマスケーキプレゼント：登録団体が繋がっている生活困難家庭にクリスマスホールケーキをプレゼントする。個別配布。

【1-3 朝ごはんプロジェクト】

- ・学校、社会福祉協議会、企業との協働にて生徒さん達に、朝食用のおにぎりを提供。

2. 学びの支援事業

【2-1 実家基金】

- ・経済的な理由によって教育の機会を失うことのないように、「実家が用立てるイメージ」の基金により、登録団体が繋がっているお子さんの支援実施。

【2-2 コカ・コーラなど 寄付型自販機設置】

- ・売り上げに応じて寄付金を頂ける自販機の設置促進。全額「実家基金」の原資とする。

【2-3 ハッピークレヨンプロジェクト】

- ・こども食堂ランチビュッフェご招待。毎月1回 2か所 年24回開催予定。
- ・社員の皆様や業者様によるフードドライブ開催。
- ・キャリアデザイン教育。

【2-4 参考書 副教材支援】

- ・企業ごとで、社員のお子さんが使用された参考書などを集め、こども食堂や学習支援団体へ寄贈。

【2-5 ランドセルバンク】

- ・企業や団体の協力により、ランドセルを集め、必要なお家庭に配布。

【2-6 メガネプロジェクト】

- ・企業協賛により、困難家庭限定で、メガネを作り学びの支援を行う。

3. 仕組みづくり事業

【3-1 ハブステーション（地域拠点）整備事業】

- ・愛知県内15か所のハブステーション機能強化。

【3-2 キッチンカー運用事業】

- ・登録団体による活用を促進し、多様なスタイルでのこども食堂開催により、「地域の居場所」の周知。

【3-3 ネットワーク整備事業・専門家マニュアル作成】

- ・各地域の社会福祉協議会や行政との連携強化。 ・他団体との連携強化。
- ・こども食堂等へ、困難家庭を公的支援につなげるための専門家マニュアル作成。

【3-4 新規こども食堂開設支援事業】

- ・食材・衛生用品などの支援。 ・助成金情報等共有。

【3-5 まちかど保健室コラボ事業】

- ・こども食堂や学習支援団体への専門家派遣による、基盤強化事業。

【3-6 実態調査】

- ・居場所活動団体の実態調査。